

平成19年度における随意契約見直し計画のフォローアップ

平成20年7月

独立行政法人製品評価技術基盤機構

1. 随意契約見直し計画と平成19年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

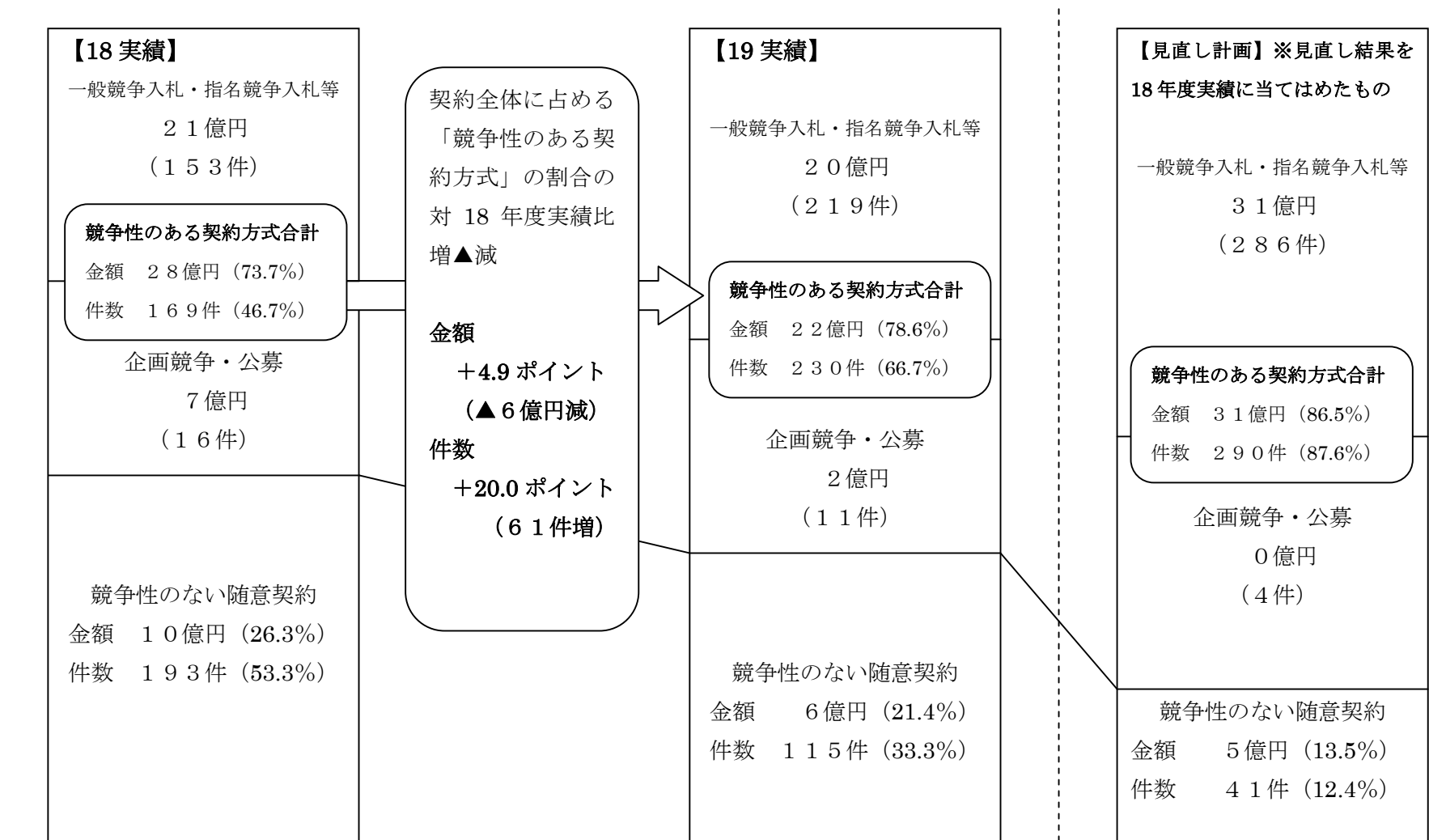
	平成18年度		平成19年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(42.3%) 153	(55.3%) 21	(63.5%) 219	(71.4%) 20	(43.1%) 66	(△4.8%) △1	(86.4%) 286	(86.0%) 31
企画競争・公募	(4.4%) 16	(18.4%) 7	(3.2%) 11	(7.2%) 2	(△31.3%) △5	(△71.4%) △5	(1.2%) 4	(0.5%) 0
競争性のある契約 (小計)	(46.7%) 169	(73.7%) 28	(66.7%) 230	(78.6%) 22	(36.1%) 61	(△21.4%) △6	(87.6%) 290	(86.5%) 31
競争性のない随意契約	(53.3%) 193	(26.3%) 10	(33.3%) 115	(21.4%) 6	(△40.4%) △78	(△40.0%) △4	(12.4%) 41	(13.5%) 5
合計	(100%) 362	(100%) 38	(100%) 345	(100%) 28	(△4.7%) △17	(△26.3%) △10	(100%) 331	(100%) 37

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の()書きは、平成19年度の対前年度伸率である。

(注3) 不落・不調の随意契約は、18年度は「競争性のない随意契約」に、19年度は「競争入札等」に整理している。

(参考) 図表 随意契約見直し計画と平成 19 年度に締結した契約の状況



(注) 不落・不調の随意契約は、18 年度は「競争性のない随意契約」に、19 年度は「一般競争入札・指名競争入札等」に整理している。

2. 平成19年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

① 一般競争入札へ移行

(ア) 講習業務委託契約	266,481千円
(イ) 情報システムの運用管理契約	69,678千円
(ウ) 業務用設備保守契約	18,900千円
(エ) 庁舎機械設備保守契約	12,600千円
(オ) 業務調査契約	11,529千円
(カ) 情報システム機能改良契約	8,526千円
(キ) 講習業務書類印刷	3,012千円
(ク) 情報システム通信回線契約	2,984千円
(ケ) 情報システム保守契約	2,717千円
(コ) 成果発表業務契約	2,447千円
(サ) 庁舎機器保守契約	2,079千円
(シ) 産業廃棄物処理契約	1,764千円
(ス) 損害保険契約	1,650千円
(セ) 傷害保険契約	1,600千円
(ソ) 業務調査契約	1,575千円
(タ) 試験機器校正契約	1,365千円

② 指名競争入札へ移行

該当なし 千円

③ 企画競争へ移行

(ア) 認定業務の委託契約	2,165千円
(イ) 国際標準化業務の委託契約	1,995千円

④ 公募へ移行

該当なし 千円

3. (参考) 契約形態別応札者数 (平成 19 年度)

契約形態	一般競争入札		指名競争入札		企画競争		公募	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
2者以上	83	39.0%	0	0%	4	36.4%	0	0%
1者以下	130	61.0%	0	0%	7	63.6%	0	0%
合計	213	100%	0	0%	11	100%	0	0%